

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年4月14日(2011.4.14)

【公開番号】特開2008-262178(P2008-262178A)

【公開日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2008-043

【出願番号】特願2008-60357(P2008-60357)

【国際特許分類】

G 09 G 3/30 (2006.01)

G 09 G 3/20 (2006.01)

G 09 G 3/36 (2006.01)

H 01 L 51/50 (2006.01)

H 01 L 29/786 (2006.01)

【F I】

G 09 G 3/30 H

G 09 G 3/20 6 2 2 G

G 09 G 3/20 6 1 2 E

G 09 G 3/20 6 2 2 E

G 09 G 3/20 6 7 0 J

G 09 G 3/36

H 05 B 33/14 A

H 01 L 29/78 6 1 7 T

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月24日(2011.2.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

出力回路と、判定回路と、電圧設定回路とを有し、

前記出力回路は、前記電圧設定回路によって値が変化する第1の電圧がゲートに与えられると、画素部及び前記判定回路へ第2の電圧を出力するトランジスタを有し、

前記判定回路は、前記第2の電圧の値に従って、前記第1の電圧の値を一に定めるように前記電圧設定回路を制御することを特徴とする表示装置。

【請求項2】

出力回路と、判定回路と、電圧設定回路とを有し、

前記出力回路は、前記電圧設定回路によって値が変化する第1の電圧がゲートに与えられると、画素部及び前記判定回路へ第2の電圧を出力するトランジスタを有し、

前記判定回路は、前記第2の電圧の値に従って、前記第1の電圧の値を一に定めるように前記電圧設定回路を制御し、

前記電圧設定回路が有する加算器は、前記値が一に定められた前記第1の電圧に第3の電圧を加算して前記トランジスタのゲートに与えることを特徴とする表示装置。

【請求項3】

出力回路と、判定回路と、電圧設定回路とを有し、

前記出力回路は、前記電圧設定回路によって値が変化する第1の電圧がゲートに与えられると、画素部及び前記判定回路へ第2の電圧を出力する第1のトランジスタと、クロッ

ク信号をサンプリングして前記画素部に与える第2のトランジスタとを有し、

前記判定回路は、前記第2の電圧の値に従って、前記第1の電圧の値を一に定めるように前記電圧設定回路を制御することを特徴とする表示装置。

【請求項4】

出力回路と、画素部と、判定回路と、電圧設定回路とを有し、

前記画素部は、複数の画素を有し、

前記出力回路は、前記電圧設定回路によって値が変化する第1の電圧がゲートに与えられると、前記画素部及び前記判定回路へ第2の電圧を出力する第1のトランジスタと、クロック信号をサンプリングして前記画素部に与えることで、前記複数の画素をラインごとに選択する第2のトランジスタとを有し、

前記判定回路は、前記第2の電圧の値に従って、前記第1の電圧の値を一に定めるように前記電圧設定回路を制御することを特徴とする表示装置。

【請求項5】

出力回路と、判定回路と、電圧設定回路とを有し、

前記出力回路は、前記電圧設定回路によって値が変化する第1の電圧がゲートに与えられると、画素部及び前記判定回路へ第2の電圧を出力する第1のトランジスタと、クロック信号をサンプリングして前記画素部に与える第2のトランジスタとを有し、

前記判定回路は、前記第2の電圧の値に従って、前記第1の電圧の値を一に定めるように前記電圧設定回路を制御し、

前記電圧設定回路が有する加算器は、前記値が一に定められた前記第1の電圧に第3の電圧を加算して前記第1のトランジスタのゲートに与えることを特徴とする表示装置。

【請求項6】

出力回路と、画素部と、判定回路と、電圧設定回路とを有し、

前記画素部は、複数の画素を有し、

前記出力回路は、前記電圧設定回路によって値が変化する第1の電圧がゲートに与えられると、前記画素部及び前記判定回路へ第2の電圧を出力する第1のトランジスタと、クロック信号をサンプリングして前記画素部に与えることで、前記複数の画素をラインごとに選択する第2のトランジスタとを有し、

前記判定回路は、前記第2の電圧の値に従って、前記第1の電圧の値を一に定めるように前記電圧設定回路を制御し、

前記電圧設定回路が有する加算器は、前記値が一に定められた前記第1の電圧に第3の電圧を加算して前記第1のトランジスタのゲートに与えることを特徴とする表示装置。

【請求項7】

請求項1または請求項2において、

前記トランジスタは、薄膜トランジスタであることを特徴とする表示装置。

【請求項8】

請求項1または請求項2において、

前記トランジスタは、酸化珪素よりも誘電率の高い絶縁膜を用いたゲート絶縁膜を有することを特徴とする表示装置。

【請求項9】

請求項3乃至請求項6のいずれか1項において、

前記第1のトランジスタは、薄膜トランジスタであることを特徴とする表示装置。

【請求項10】

請求項3乃至請求項6のいずれか1項において、

前記第1のトランジスタは、酸化珪素よりも誘電率の高い絶縁膜を用いたゲート絶縁膜を有することを特徴とする表示装置。